

丘の上の学舎

～若い芽・強い木・愛の花～



令和7年7月1日

「高等部卒業後の進路について」

副校長 佐々木 光洋

私は令和2年度から2年間、諫早特別支援学校で勤務していました。3年ぶりに戻ってきた諫早特別支援学校は、当時と違って運動場を含めたすべての校舎が完成し、4月に赴任したときは、まるで初めて学校に来たかのような思っていました。今は、新たなスタートという思いで日々子供たちと一緒に頑張っているところです。

さて、私は高等部での勤務歴が長いこともあり、進路のことについて話してみたいと思います。高等部卒業後の進路についてはすでにご存じの方もおられると思いますが、確認も含めて読んでいただけると有り難いです。

高等部卒業後の進路は主に進学や一般就労、福祉的就労などになります。福祉的就労は就労継続支援事業所（A型・B型）や生活介護事業所などです。就労継続支援A型は雇用契約を結び、賃金が利用者の方に支払われます。就労継続支援B型は非雇用契約で利用者には工賃という形で給与が支払われます。当然ですが、就労継続支援事業所にしても生活介護事業所にしても、各事業所によってサービス内容はそれぞれ違います。進路決定にあたっては、基本は本人らしく生活できる事業所を見付けることです。具体的には、本人や保護者が望んだ業務や作業内容であったり、職場や生活の環境が本人の良さを発揮できる場所であったりなどです。その他にも、賃金や工賃、自宅からの距離、送迎や入浴の有無、看護師の配置など、どのサービス内容が本人に最適かを検討して決めていくことになります。また、進路は進路先だけではなく、生活の場（自宅・グループホームなど）も併せて考えておく必要があります。高等部卒業後すぐの生活の場だけでなく、その先（例えば親亡きあと）のことも考えながら生活の場を決めていくこともあります。

ここで、保護者の皆様をお願いしたいことは、小学部段階から進路に関わることを考えてほしいということです。まだ、先のことを考えてしまいがちですが、どの進路選択がよいのか、どの事業所が本人に合っているのか、生活の場はどうするかなど、小学部段階で決めるというのではなく、情報収集を含めて考えておくことは重要に思います。可能であれば、事業所を本人と保護者の目で直接見ておくことが何よりです。学校では進路指導部を中心に進路に関する情報や研修会などを紹介していきます。是非、そのような機会を利用して、お子様の将来について考えていただけると有り難いです。よろしく願いいたします。



今月の輝き face - 小学部1年生 -

😊 輝き face は4月に入学した小学部1年生です。😊



4月9日に入学してきた小学部1年生、初めての環境でどきどきしていた皆さんも、今ではすっかり慣れて毎日元気に過ごしています！
◆生活単元学習「さわってあそぼう」で、いろいろな素材を触る学習をしました。寒天、小麦粉、春雨等々、普段なかなか味わうことのない感触をそれぞれに楽しみました。



◇生活科「がっこうたんけん」で、校内を散策して場所を確認したり、どのような人がいるか調べたりしました。校長室にある校長先生の椅子にも座りました！



◆はみがき集会では「はみがき上手くん」の人形の歯を磨きました。その後の自分の歯磨きの練習も上手に取り組みました。

◇国語や算数の勉強も頑張っています。「れいぞうこ」の学習では、具体物に触れながら、見たり聞いたりする学習に取り組みました。

◆新聞紙を破ったり、丸めたりして「かたつむり」を作りました。



修学旅行（訪問教育みさかえ地区）

訪問教育みさかえ地区小学部6年生が、5月21日（水）にこどもの城へ修学旅行に行きました。

あいにく大雨の天気でしたが、雨どいから雨が落ちるところに空き缶を置いて、空き缶にあたる雨音を聞きながら雨の歌を歌うのを楽しみました。室内では、参加した皆さんと一緒に森にある葉っぱを使ってステンドグラス風の飾りを作りました。葉っぱの感触をしっかりと感じながら作りました。また、クスノキやミントの葉などのいろいろな草花の匂いも嗅いだり、触れたりしました。普段できないことにたくさん取り組むことができました。こどもの城、おつみの家のスタッフの方々、ありがとうございました。



令和7年度第1回学校評議員会報告

今年度の学校評議員の方々です。

- 佐藤 凡人 様（元特別支援学校長）
- 松浦 恵子 様（県立こども医療福祉センター）
- 井村 弘子 様（長崎県医療的ケア児支援センター）
- 矢野 武志 様（社会福祉法人飛翔会ワーキングヒルズ）

6月20日（金）、令和7年度第1回学校評議員会を開催しました。

それぞれのお立場から様々な視点で本校の教育についてご助言をいただきました。ありがとうございました。いただいた助言等を一部ご紹介します。

★今年度の努力目標に掲げてある進路実現、キャリア教育。やはり学校は、進路保障、卒業後の豊かな生活を送れるようにしなければならないと思います。学校教育は長いようであっという間ですので、卒業後の生き方を保証することが学校の使命です。チームワーク、フットワークで実現してほしいと思います。

☆プール開きやスクーリングの様子を見せていただきました。学習について、授業の中に遊びの要素を取り入れていて、子供たちが笑顔で楽しく取り組んでいると感じました。

★医療的ケアについては、先生方にも力を注いでもらっています。学校看護師さんはドクターがいない中、子供たちが教育を受けるためにという志をもたれています。私はそのような看護師さんを支えていければと思っています。医療的ケアに関して知りたいことがあれば、項目を挙げてもらえたら校内の先生方に向けて、岡田医師がお話してくださると思います。声を掛けていただければと思います。

☆昨年度中学部の皆さんがKINOBUTA（きのぶた）に来てくださったことは、迎える自分たちにとっても、大変勉強になりました。事前に見学させてもらうなど、知る事の大切さを学びました。今年度も利用していただくので、全力で取り組みたいと思います。また、夏季休業中の進路研修会で話をさせていただきます。福祉サービスの実態等を保護者や先生方に伝えたいと考えています。よろしく願いいたします。